

北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 第3回 権利擁護部会	開催日時 平成28年8月25日(木)
--------------------------	------------------------------

参加者所属機関名等 北信保健福祉事務所福祉課・中野市福祉課・中野市高齢者支援課・中野市社協・飯山市保健福祉課・飯山市社協・山ノ内町健康福祉課・山ノ内町社協・木島平村民生課・木島平村社協・野沢温泉村包括・栄村健康支援課・栄村社協・ひまわり長野・リーガルサポートながの・ぱあとなあながの・北信圏域権利擁護センター・サービスセンターりんく・北信圏域障害者総合相談支援センター
--

本日のテーマ、課題等 ①北信圏域権利擁護センターからの報告 ②長野県権利擁護部会の報告 ③全国虐待防止・権利擁護指導者研修の報告 ④ニーズ収集PJより ⑤各PJより
--

会議で話し合われた事 ①北信圏域権利擁護センターからの報告 ・これまでの相談件数等実績の報告と研修会開催のお知らせ。 ②長野県権利擁護部会の報告(部会長より) ・虐待案件に関する課題について…市町村における虐待防止センターの職員の専門性の課題等がある。(担当者の異動等がある。) ・今年度の障がい者虐待防止・権利擁護研修会について…未参加の事業所へ積極的に参加のアプローチを行う。また、伝達研修の実施率向上を目指す。 ・地域生活定着支援センターとの連携…今年度、矯正施設の見学を共催で実施する。各地域の権利擁護部会での視察や研修への協力もしていただける。 ③全国虐待防止・権利擁護指導者研修の報告(部会長より) ・虐待の通報先を支援者でも知らない現状があり、地域住民も含めた周知徹底をはかる。 ・わかりやすいパンフレットやワークショップを活用し、当事者への啓発にも力を入れる。 ・虐待防止のため、小さな出来事でも放置しない、職員がアンガーマネジメント等学んでいくことも大切。等。 【部員からの意見】 ・通報を受ける市町村職員の認識も大切。ただ、高齢者入所施設での虐待案件の対応をした際に、事業所側も大事にせず内々で済ませたいという思いがあり、対応が難しかった。事業所管理者の虐待に対する認識も大切。 ・防災訓練の様に、虐待の疑似通報で対応の訓練をしておくことも必要。 ④ニーズ収集PJより 昨年度実施した権利擁護に関するアンケートの回答をまとめ、今年10月に各事業所へ結果をお返したい。ついては、まとめ方等への意見を頂きたい。 【部員からの意見(追加した方がよい内容)】 ・この結果を事業所ではこんな風に活かしてほしい、部会としてはこんな取り組みをしていく等のメッセージ。 ・無料相談の情報等、アンケートに寄せられた困り事等に対するアンサー。 ⑤各PJからの報告 ○啓発PJ…7・8月と活動を実施。そこから見えた課題を基に改善をしていく。10・11月にも活動を予定している。寸劇の中で、虐待通報の疑似訓練も取り込めるように検討したい。 ○ニーズ収集PJ…今日頂いた意見を基に、アンケート結果のまとめを改善したい。 ○センター連携PJ…成年後見制度首長申立ての研修会案をだし、練っているところ。年度内の実施を予定。 ⑥その他 障害者差別解消支援地域協議会の設置について、市町村課題検討WGで検討中。権利擁護部会からも検討に加わってほしいと要望がある。⇒部会長が参加する。
